Steelcase®

Leap

デザインストーリー

5 受け継がれる卓越性

7 意図を持った設計

綿密な「座位姿勢」研究

8 スチールケース・モーション・スタディ

身体の動きを促す

10 ライブバック機構

11 ナチュラル・グライド・システム

12 比類なき調節機構

13 生産性の向上

14 4Dアーム

サステナビリティ

16 ライフサイクル・アセスメント

17 より賢い素材選び

18 仕様 + 調節機構

19 仕上げ・張り地

20 ムードボード

22 スチールケースチェアが選ばれる理由

Meet Leap







Leap



Leap

Legacy of Distinction

受け継がれる卓越性

1999年の発売当時、リープ(Leap)は、その人体とチェアの関係を極限まで追求したコンセプトと先進的な技術力でオフィスチェアに革命をもたらしました。発売以来、その卓越した性能で数多くの受賞に輝き、30年経った今でも、そのシンボル的存在は時代を超えて世界中で愛され続けています。

Most Innovative Design Award
NeoCon

Editor's Choice Award
NeoCon

Best of NeoCon Gold Award:
Desk, Workstation, Task Seating
NeoCon

Grand Prize, Workplace Productivity
Innovative Award

Best Overall Desk Chair
Wall Street Journal

Red Dot Design Award
Award winner



Legacy of Distinction

受け継がれる卓越性



The Leap chair: As seen on TV

Steelcase's new Leap™ chair is popping up on prime time TV!

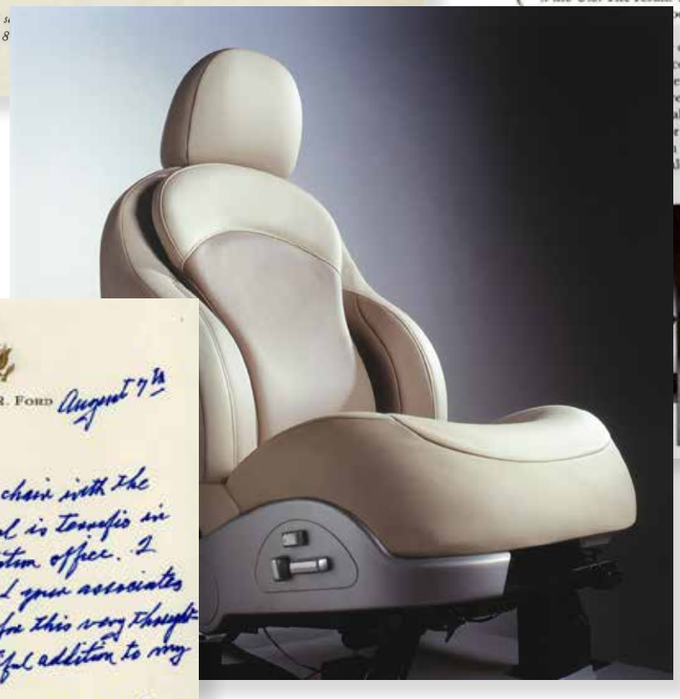
Seven Leap stools were used onstage in the televised Michigan Republican presidential debate, held on Jan. 10 at Calvin College in Grand Rapids. Each of the six Republican candidates and the debate's moderator, Tim Russert of *Meet the Press*, sat in a Leap stool. The stool is a Leap chair with a higher cylinder (22 to 30 inches) and a foot ring. It's been available to customers since August.

The Leap chair has also made its comedy debut on the popular FOX show, *Ally McBeal*. The show's production designer saw a magazine ad for Leap and decided the chair would fit perfectly on the show's set, an upscale law firm in Boston. As a result, Ally, her boss and her secretary are sitting in Leap chairs this season.

"This will be great exposure for Steelcase," says Jon Melser, a Steelcase market manager in Los Angeles.

Rest assured, no snow jaguar was sacrificed to produce this chair.
Just a few researchers' evenings and weekends. Happily, their sacrifices paid off.
With a new technology (protected by 23 patents), a new chair and a healthier way to sit.

For more Leap™ s
call 8



Leaping ahead with a new chair

Steelcase has introduced some extraordinary products in the past, but with Leap™, the company may have achieved a once-in-a-lifetime breakthrough.

Leap is a new seating technology aimed at addressing back pain and worker productivity among today's office workers.

According to the Occupational Safety and Health Administration, back pain is a disability that currently costs employers $20 billion in workers' compensation costs annually. It ranks second only to the common cold as a cause for worker absenteeism, and it accounts for more than 40 percent of all occupational injuries [illegible] the U.S. The result? Days away [illegible]ductivity.

[illegible] comes in. [illegible]company [illegible]esearch on [illegible]also con- [illegible] universi- [illegible] IDEO, our [illegible]lo Alto,

Now, the product of that research has become a reality – the Chair Plant will begin full production of Leap in August. More than 25,000 chairs will be shipped to dealers who have already committed to buy them – without even waiting for customer orders! They're convinced Leap will be a hit, and they want to be ready.

What makes Leap special?

Leap is the first chair to conform to each individual's unique spinal motion. It provides independent controls for the upper and lower back, which move in different directions when a person changes positions.

"The spine wants to move in ways that today's chairs don't allow," says Noe Palacios, Steelcase's ergonomic specialist. "So we developed a 'leap' in technology that lets people sit properly and move naturally while sitting, providing appropriate support to the upper and lower back at all times. Leap provides a healthier way to sit."

Ken Tameling, product manager for Leap, says that Leap's technology incorporates features found in no other chair today. "We're changing the way chairs are designed in the future," he says. "And we're changing the market's expectations for how a chair should perform."

Our marketing team reports that early response from selected customers, architects and designers has been fantastic.

NeoCon praise and prizes

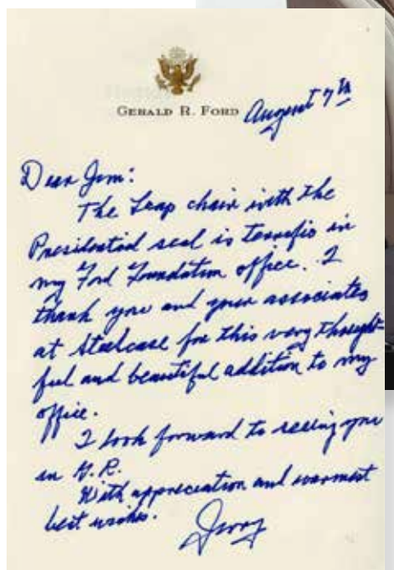
More than 40,000 people attended NeoCon '90, our industry's largest trade show, held in Chicago, June 7-9. Most of them made their way to the Steelcase showroom to see our new seating products and the latest generation of Pathways®.

The Steelcase family of companies won nine awards in the "Best of NeoCon" competition.

- Leap™: "Editor's Choice" award, one of two top awards; one of five "Most Innovative" products; Gold award in the desk/task chairs category
- Turnstone®: Gold awards for the Nest desk and the Sweeper chair
- Brayton International: Gold award for the L'attitude chair
- J.M. Lynne Co.: Gold award for wall treatments
- Steelcase Wood: Silver award for Hatchback™, an addition to the Relevant® line
- Metro: Silver award for Detour™ products

The Steelcase Wood showroom also won the "Creative Excellence" award in a separate competition.





Gerald R. Ford August 17th

Dear Jon:
The Leap chair with the Presidential seal is terrific in my Ford Foundation office. I thank you and your associates at Steelcase for this very thoughtful and beautiful addition to my office.
I look forward to seeing you in V.R.
With appreciation and warmest best wishes.
Jerry

Designed with Intent

意図を持ったデザイン



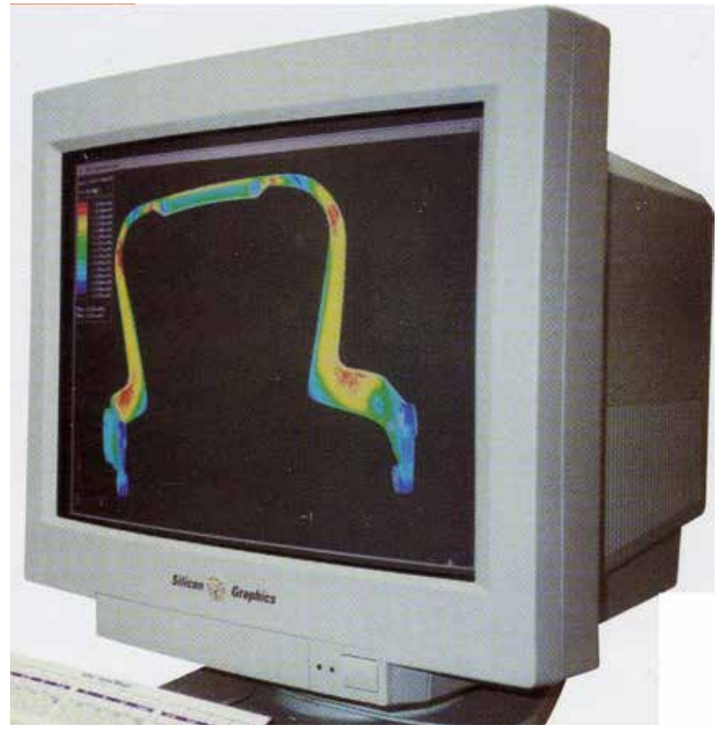
“リープは、新たなオフィスニーズに応え、個々人の背骨の形状や動きを真似る世界初のチェアです。従来のチェア設計の概念を根本から覆し、未来に向けての新たな方向性を提示しました。”

リープ担当プロダクトマネージャー、スチールケース

“今日のチェアは、人間の複雑な背骨の動きに対応できていません。私たちの挑戦は、人体と座ることの本質を見つめ直すことから始まりました。健康的に座るには座っている間でも身体を自由に動かせること、そのためには異なる動きをする背骨の上部と下部を的確にサポートする必要があります。その発見がイスの常識を超えて「飛躍(Leap)」できる技術の開発につながりました。”

人間工学スペシャリスト、スチールケース

市場におけるリープの優位性は、科学的知見、設計とエンジニアリングの革新性、最先端のデジタルシミュレーションによって確立されました。



Steelcase Motion Study

スチールケース・モーション・スタディ

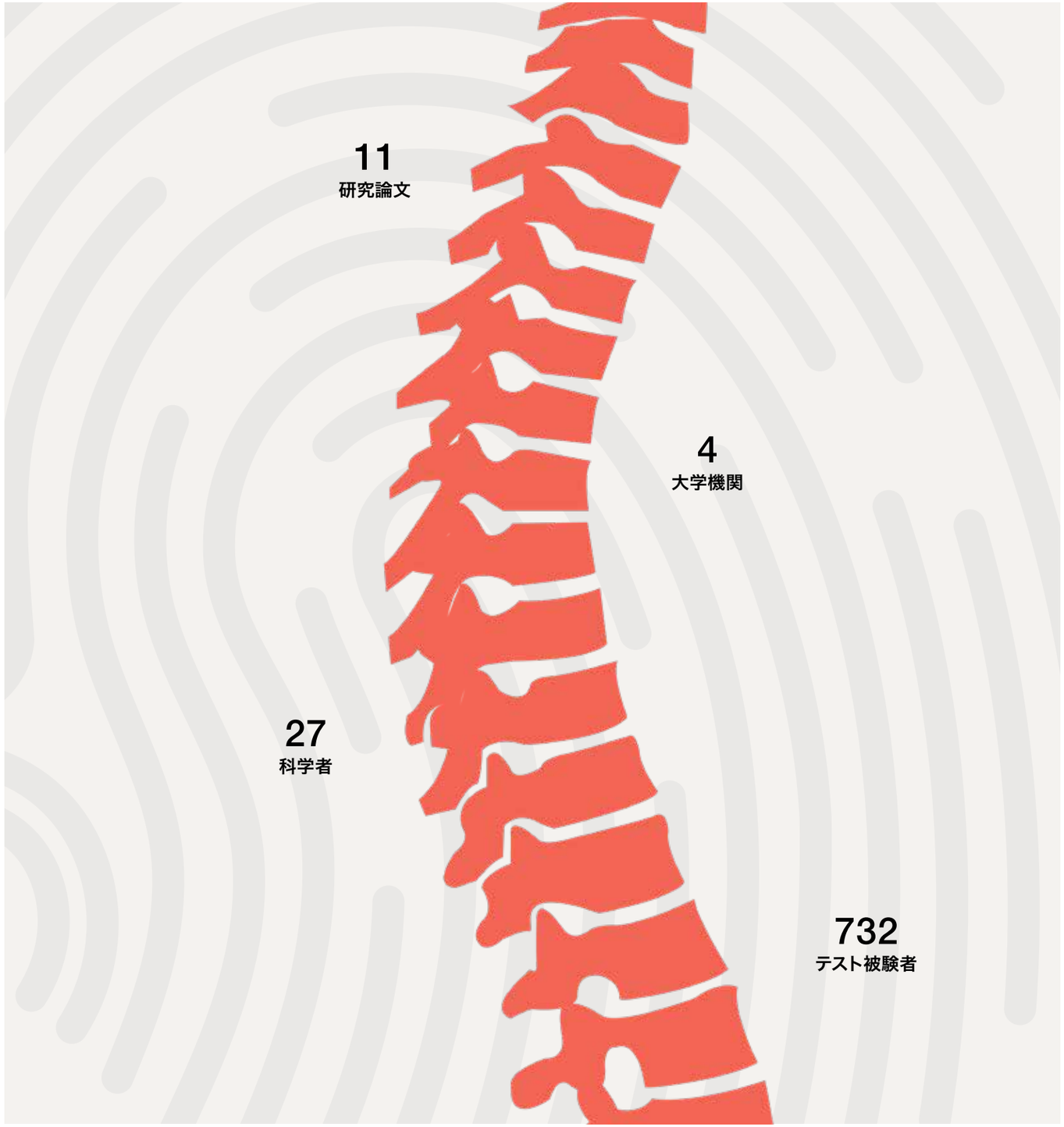
スチールケースは、その製品設計プロセスにおいて、ユーザーの実態やニーズの調査を中心に据えるアプローチを採用しています。リープは、人体の動きを研究する世界規模の医学研究プロジェクト、**スチールケース・モーション・スタディ**から導かれたいくつかの知見をベースに誕生しています。

同研究プロジェクトは、4年に及ぶ期間、700人以上の被験者を対象に、デンマーク工科大学、ミシガン州立大学、バーモント大学背骨研究センターなどの著名な大学機関と共同で実施されました。人体の動き、人間工学、ユーザーニーズにおける3つの重要な発見は、リープ（およびそれ以降のすべてのスチールケースチェア）開発の礎となっています。

1. **背骨は1つのユニットとして動かない。**姿勢を変えると背骨の上部と下部は、別々の動きをし、背骨の上位は後方に、下位は前方に弓なりに動く。

2. **背骨のカタチと動きは一人ひとり異なる。**指紋が個々に違うように、背骨の動きは一人ひとり異なり、1日を通して姿勢を変えるたびに背骨のカタチは変化する。

3. **背骨の上部と下部では必要なサポートの量と質が異なる。**背中下部へのサポート量は一定なのに対して、背中上部はリクライニング角度が大きくなるほど必要なサポート量が増す。





Liveback®
ライブバック機構

モーション・スタディの結果は、私たちのチェア開発の画期的な転換点となりました。「ひとつのサイズがすべての人に合うわけではない」、つまり、すべての人の背中と背骨には異なる量と質のサポートが必要であるという結論に至りました。そして、個々人の異なる背骨のカタチと動きを真似るチェアの開発が始動しました。

個々のユーザーを念頭に設計されたスチールケース独自のライブバック機構（LIVEBACK®）とは：

どんな姿勢でも、あらゆる人の背骨の動きに反応し、追従するというリープだけが持つ先進的テクノロジーです。チェアでリクライニングすると背骨の上部と下部はそれぞれに反対方向に動きます。リープの背もたれの上部と下部は、背骨と同じように独立して動くため、姿勢を変えてもチェアと背・腰の間には隙間ができません。背中と腰をしっかり支える安定感に加え、背中への負荷を軽減しながら身体の自由な動きも可能にしています。



Natural Glide System™

ナチュラル・グライド・システム



座りながら身体を動かすことは、健康上極めて大切です。リープに搭載の特許取得済みナチュラルグライドシステムは、背もたれが傾くと座面が前方に滑らかにスライドするため、視界や手の届く範囲が変わることなく姿勢をダイナミックに動かすことができます。また、リクライニングしても座面が上がらず、大腿部への圧迫を和らげます。

Absolute Adjustability

比類なき調節機構



背もたれ下部強度
背中の下部に継続的なサポートを与えることで背骨の自然なカーブを保持でき、不健康な猫背姿勢を回避できます。

背もたれ上部反力
リクライニング角度が大きくなるにつれて背もたれ上部の反力が増します。体格に関係なく、個々に適した量の「押し戻し」を提供します。

背もたれロッキング
ダイアルを回転させながら5箇所でリクライニング角度を設定、固定できます（水平がフルリクライニング）。

大きな書体と点字表示は、米ミシガン州盲人協会との共同開発です。

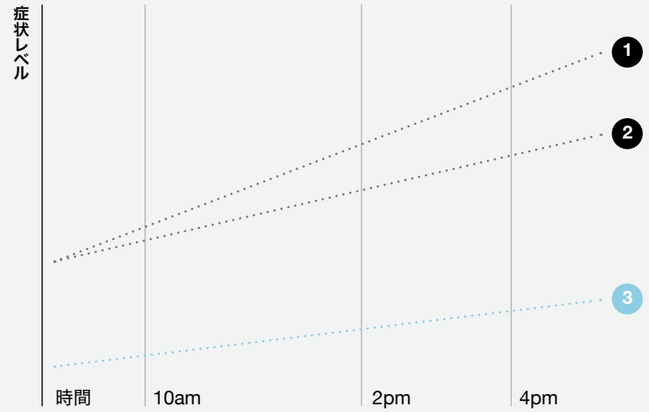
Enhanced Productivity

生産性の向上

1年間に及ぶユーザー調査によって、リープに搭載の独自技術がもたらす健康上のメリットが明らかになりました。「リープの生産性と健康への影響に関する研究レポート」によると、人間工学に基づいたタスクチェアと人間工学トレーニングを受けたユーザーの生産性は大幅に向上し、仕事中の不快感が目に見える形で軽減されました。



時間の経過による筋骨格症状の推移 (公的機関向け)



1 コントロールグループ

2 トレーニングのみ

3 リープ + トレーニング

2000年代初頭、インターネットの普及によって働き方は大きな変化を遂げました。私たちは、その働き方の変化がオフィスにおけるワーカーの快適さや生産性にどう影響を及ぼすかに注目し、200人以上の被験者を対象に現場での観察やヒアリング調査など1年間におよぶフィールド調査を実施しました。

▲ 17.8%

調査対象グループを、コントロールグループ(既存チェアを使用)、既存チェア+人間工学トレーニンググループ、 リープ+人間工学トレーニンググループの3つに分けて実験、観察しました。その結果、リープ+人間工学トレーニンググループの参加者は筋骨格系の症状が著しく少なく、より快適かつ生産的に仕事を遂行できていることが分かりました。つまり、人間工学上の利点を理解した上でリープを使用することが生産性の大幅な向上に寄与し、従業員1人あたりの生産性が平均で17.8%向上したことが実証されました。

4D Arms
4Dアーム

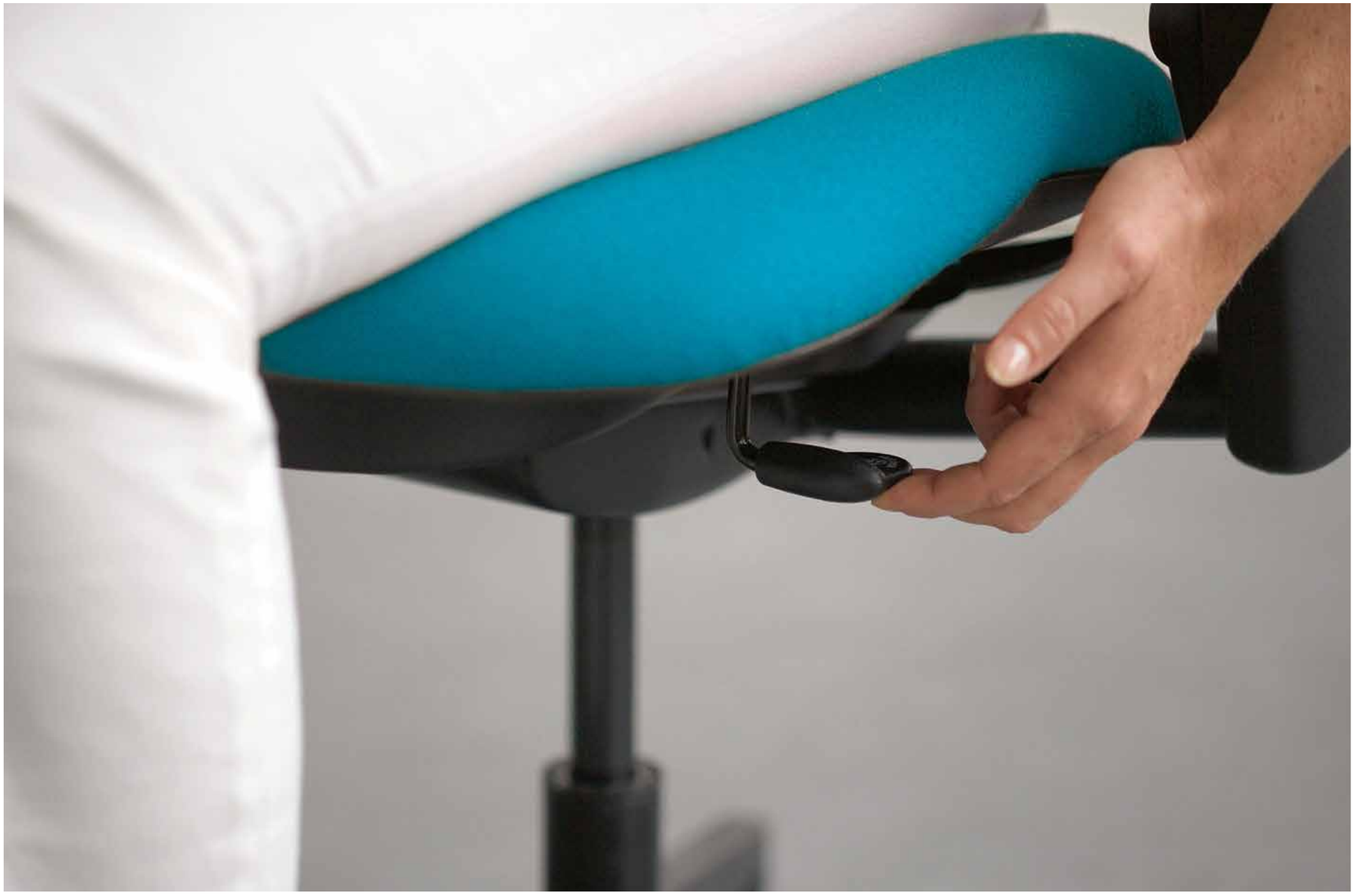


快適さと生産性の両方をバランスよく備えたリープは、身体の動きに直感的に反応するため、座っていることを意識することなく姿勢を変えることができます。アームを利用することで、どんな姿勢でも、前腕や手首をデスクと平行に保持でき、無理なく快適かつ健康的に仕事を続行できます。

4Dアーム

肘掛けは、上下、左右、前後、角度で動くため、的確に手首や腕を支え、首や肩の緊張を和らげます。





パッシブ・シート・エッジ

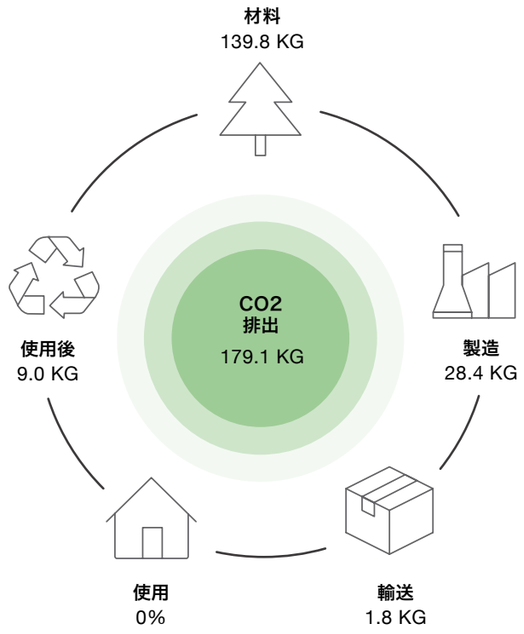
大腿部への圧力を軽減し、椎間板の角度を広げ、チェアから滑り落ちないように設計されています。

座面奥行き調節

人それぞれに体格が違うため、座面の奥行きを個々が調節できることで長時間にわたって快適な座り心地を確保できます。

Life Cycle Assessment

ライフサイクル・アセスメント

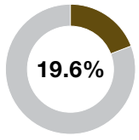




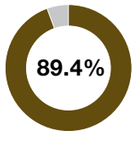
私たちは、人間と社会にとって有益な製品を生み出すよう努めています。気候変動の緩和を念頭に置いた製品開発において、材料調達からお客様に製品が届くまでの一連のプロセスで環境負荷軽減への取り組みを強化しています。

当社の製品は、持続可能な製品設計フレームワークをベースに、環境負荷を評価するライフサイクル思考と循環型モノづくりをベースに設計されています:

責任を持って材料を調達する
地球温暖化と環境負荷を最小限に抑える
材料の安全性を確保する
製品使用後戦略を実行する



リサイクル含有率



**重量での
リサイクル可能率**

材料と製造

持続可能なモノづくりを念頭にした廃棄物、エネルギー消費、環境負荷を可能な限り抑えるような設計に加え、リサイクル材の使用、材料と部品数の最小化を実現しています。

輸送

アジア太平洋市場向けにアジアで製造および輸送され、梱包材の容積を最小限に抑え、輸送時のエネルギー削減に努めています。

使用

製品の長寿命化に加え、製品保証も充実しています。製品の安全性を証明する米国内装規格のインドアアドバンテージ・ゴールド（Indoor Advantage™Gold）認証も取得しています。

使用後

製品の90%、梱包材の100%がリサイクル可能です。

Better Materials

より賢い素材選び

リープは、時間の経過とともにその製造方法と素材を見直すことで製品の性能がさらに強化されています。人体に悪影響を及ぼすとされているフッ素樹脂(PTFE)を排除する一方で、アルミニウムと産業廃棄物のガラス繊維入りナイロンを採用し、リサイクル含有量の増加や軽量化にも成功しています。



製品構成

材質	重量(kg)	重量(kg)	資源タイプ
スチール	12.870	47.30	リサイクル、非再生資源
アルミニウム	2.805	10.30	リサイクル、非再生資源
ポリオキシメチレン(POM)	0.746	2.70	非再生資源
ポリプロピレン(PP)	3.444	12.60	非再生資源
ナイロン(PA6およびPA66)	3.888	14.20	リサイクル、非再生資源
ポリウレタン(PU)	2.799	10.30	非再生資源
その他	0.678	2.50	
合計	27.231	100	

リープは、性能テストを経て、下記の最も厳格な認証を取得しています:

Declare

AFRDI Blue Tick

AFRDI Green Tick

SCS Indoor Advantage Gold – Furniture

Environmental Product Declaration (EPD) by NSF

Features + Adjustability 仕様 + 調節機構



背と座/布張り
アーム付き



背/3Dニット
座/布張り
アーム/ヘッドレスト付き



背と座/布張り
アーム/ヘッドレスト付き



背/3Dニット
座/布張り
アーム付き

サイズ (BIFMA CMDで測定)

	チェア
全体の奥行き	553mm〜629mm
全体の幅	686mm
全体の高さ	972mm〜1099mm
座面奥行き	401mm〜477mm
座面幅	489mm
座面高さ	394mm〜521mm
座面から腰椎高さ	134mm〜261mm
座面からアーム高さ	178mm〜280mm
アーム間距離	324mm〜508mm
アーム角度範囲	内側30˚/外側30˚
アーム奥行き	77mm



背もたれサポート
ライブバック機構を搭載した「人の背骨を真似る」世界初のチェア。背骨の自然な動きに追従し、背骨全体を支えるように形状が変化します。



マニュアル調節
背もたれの反力など、体格や好みに合わせて手動で自分仕様に設定、調節できます。



4Dアーム
上下、左右、 前後、首振りで動く肘掛け。姿勢が変わっても的確に手首や腕を支え、首や肩の緊張を和らげます。



ランバーサポート
高さ調節付きランバーサポートが標準搭載。腰椎周辺にさらにサポートが欲しい場合は、背もたれ下部強度ダイアルを使って調節できます。



人間工学を配慮した座面
座面クッションの先端にしなる柔軟性を持たせているため、どんな姿勢でも大腿部への圧迫を軽減しながら快適な座り心地を提供します。



リクライニング角度調節
リクライニング角度範囲は、直立ロックとフルリクライニングを含む4段階の角度で設定できます。



調節可能ヘッドレスト
調節方法は誰でも使いやすいように英語と点字でのラベル表示をしています。部強度ダイアルを使って調節できます。

Surface Materials 仕上げ・張り地

フレーム・ベース・アーム/仕上げ

ペイント（ニュートラル）

Black

Platinum Metallic

背・座/張り地

Otto (PG1)

K601 Peacock
K602 Lizard
K603 Olive
K604 Grass
K605 Honey
K606 Coral
K607 Saffron
K608 Merlot
K609 Aubergine
K610 Lagoon
K611 Bluestone
K612 Smoke
K613 Iron
K614 Ash
K615 Charcoal

背・座/張り地

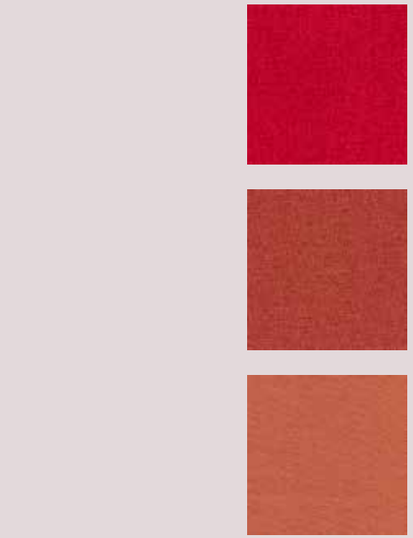
Medley (PG2)

60003 Grey
60004 Pepper
60167 Grey Brown
60999 Pepper Black
61002 Beige
62002 Mustard Yellow
63017 Orange Mix
64019 Red
64125 Dark Pin
66008 Light Grey
66010 Blue
66144 Denim
67006 Sky Blue
67053 Water Blue
67054 Dark Green

Era (PG2)

5ER0 Cobalt
5ER2 Blue Nickel
5ER3 Pistachio
5ER6 Truffle
5ER7 Saffron
5ER8 Pink Lemonade
5ER9 Onyx
5ES0 Scarlet
5ES3 Persimmon
5ES4 Sprout
5ES5 Blue Mint
5ES7 Night Owl
5ET1 Peach
5ET2 Cherry
5ET3 Fresh Green
5ET4 Jade
5ET5 Sky
5ET6 Cloud
5ET7 Ocean
5ET8 Stone
5ET9 Slate
5EU1 Pink
5EU2 Electric Indigo
55EU3 Green Citrine
5EU4 Storm Cloud









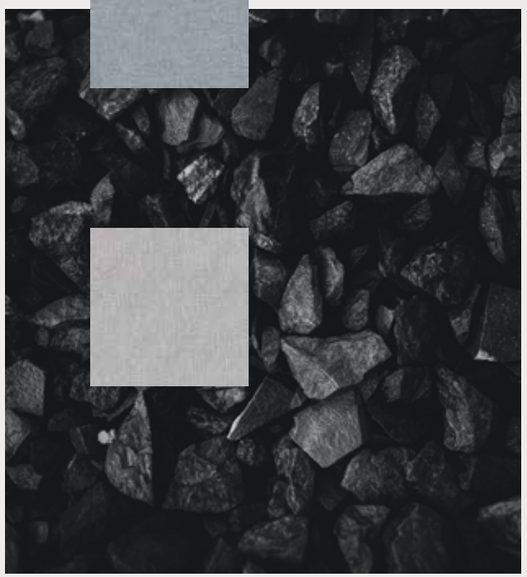
自然をヒントに生まれた明るく
表現力豊かな色彩は、オフィスに
「心地よさ」をもたらします。

バイオフィリア効果を取り入れた温かみのあるニュートラルカラーと鮮やかな色彩の組み合わせ。自然が持っているパワーを活かし、「幸福度」の高いオフィスを演出します。









The Steelcase Seating Difference

スチールケースチェアが選ばれる理由

「それは単なるチェア以上のもの」、これが私たちのチェア開発の原点です。その根底に流れるデザイン哲学は、使い手のことを飽くことなく追求するモノづくりです。人がどう働き、動き、感じ、何を求めているかの本質を突き止めようとする深い探究心が新たな価値創出につながっています。調査から導かれた知見を結集し、妥協を許さない品質と職人技、サステナビリティ、それらのすべてが考え抜かれて私たちのチェアは誕生しています。



Leap

Steelcase®

steelcase.jp

AP2331E © 2023 Steelcase Inc. All rights reserved.
すべての仕様は予告なく変更されることがあります。ここに記載されているトレードマークは
Steelcase Inc.または関係各社の商標登録です。